

日本科学史学会 第 66 回年会

2019 年度総会 プログラム

2019 年 5 月 25 日 (土)

- 9:30 – 受付開始
- 10:00 – 11:20 一般講演① (A、B 会場)、シンポジウム (～12:30) (C、D 会場)
- 11:30 – 12:30 一般講演② (A、B 会場)
- 13:20 – 14:40 一般講演③ (A、B、C、D 会場)
- 14:50 – 16:20 記念講演 (講堂)
名和哲夫氏 (名和昆虫博物館館長)
「名和昆虫博物館 100 年史～存続の謎と昆虫よもやま話～」
- 16:30 – 18:15 総会 (講堂)
- 18:30 – 懇親会 (生協医学部食堂)

2019 年 5 月 26 日 (日)

- 8:40 – 受付開始
- 9:00 – 10:00 一般講演④ (A、B、C、D 会場)
- 10:10 – 11:10 一般講演⑤ (A、B、C、D 会場)
- 11:20 – 12:20 一般講演⑥ (A、B、C、D 会場)
- 13:10 – 15:40 シンポジウム (A、B、C 会場)
- 16:20 – 17:20 エクスカーション (名和昆虫博物館)

※記念講演とシンポジウムは公開とします。非会員の方は資料代 1,000 円で聴講できます。

5月25日(土) 10:00-11:20 一般講演①

<A会場>

- 10:00 A11 ガリレオ『世界系対話』と望遠鏡による天体観測 伊藤和行
10:20 A12 手書き論文‘The transit of Mercury observed at St Helena in 1677
(Cl.P/21/3)’について 杉本剛
10:40 A13 クラウンガラスとフリントガラスの比較から分かる17世紀光学の困難 多久和理実
11:00 A14 ニュートンの音楽手稿における旋法の順位付けと音の協和度 工藤璃輝

<B会場>

- 10:00 B11 サイバネティクスと電気工学 河西棟馬
10:20 B12 音響学者・色彩学者 田口柳三郎の足跡 吉岡有文
10:40 B13 「1970年代初頭、日本における無偏析鋼塊への挑戦」 森亮資
11:00 B14 電子顕微鏡開発と産学共同研究 黒田光太郎

5月25日(土) 11:30-12:30 一般講演②

<A会場>

- 11:30 A21 『法人関係書類』にみる斎藤報恩会 米澤晋彦
11:50 A22 大学史と知の社会的存在形態——『九州工業大学百年史』を一例に—— 木本忠昭
12:10 A23 バイオハザードリスクとともに出現する公共的関心 日本でP-4(BSL-4)
施設はどのように受け止められたか 林真理

<B会場>

- 11:30 B21 女医の誕生—高知の場合— 西條敏美
11:50 B22 地球化学者岡田家武旧蔵『薬学大辞典』 八耳俊文
12:10 B23 久米邦武が論ずる「日本民族の起源」 福川知子

5月25日(土) 10:00-12:30 シンポジウム

<C会場>

- 10:00 S1 【シンポジウム】日独中における産業IoTの展開と科学技術体制
中村真悟(代表)、杉本通百則、永島昂、藤谷麻菜、
山崎文徳、兵藤友博、高橋信一、田口直樹

<D会場>

- 10:00 S2 【シンポジウム】科学史研究と教育
渡辺規夫(代表)、宮地祐司、松野修、吉川辰司、出口陽正

5月25日(土) 13:20-14:40 一般講演③

<A会場>

- 13:20 A31 『七十人訳聖書』の語彙・用語法から見たヘレニズム期ユダヤ社会における
医学思想の変容過程 堀忠
- 13:40 A32 アリストテレスと動物の生殖発生をめぐる諸問題—「精液」(スベルマ)の
概念を中心に— 今井正浩
- 14:00 A33 フランシス・ベイコンと食 柴田和宏
- 14:20 A34 オーギュスト・コントとモンペリエ学派 平井正人

<B会場>

- 13:20 B31 ヴィエト『方程式の理解と改良に関する2論文』における比・比例の扱い 北秀和
- 13:40 B32 A. Quetelet の社会物理学と確率論 上藤一郎
- 14:00 B33 有徳たれ統計学者、そしてデータに自己をうずめよ：ロンドン統計協会と
社会科学的エートスの形成 1870-1875 岡澤康浩
- 14:20 B34 19世紀における医学への確率・統計適用の試み：ジュール・ガヴァレに
着目して 古俣めぐみ

<C会場>

- 13:20 C31 ヒロシマの複合災害：戦争、原爆、枕崎台風 宮川卓也
- 13:40 C32 原爆に関する医学調査と研究について：広島での研究組織の動向 久保田明子
- 14:00 C33 ABCC と日本の医学：原子力平和利用を背景に 飯田香穂里
- 14:20 C34 戦後初期の長崎大学と ABCC の解剖プログラム 中尾麻伊香

<D会場>

- 13:20 D31 日本の蝶研究史における図譜と新種記載 溝口元
- 13:40 D32 アサガオ(牽牛子)の伝播と利用 久保輝幸
- 14:00 D33 【長時間枠】Integrity と Integration の歴史的変遷—現代における生と
死の再考のために— 小宮山陽子

5月26日(日) 9:00-10:00 一般講演④

<A会場>

- 9:00 A41 大正期の軍と大学—東京帝国大学航空研究所をめぐって— 水沢光
- 9:20 A42 第二次世界大戦期における旧海軍の航空機用無線通信機の研究開発 横井謙斗
- 9:40 A43 冷戦期における米軍による日本への科学研究資金の支援について 栗原岳史

<B会場>

- 9:00 B41 2018年発見の台湾大学秘蔵和算書 城地茂
- 9:20 B42 近世日本における清水流規矩術の系譜 小山桂佑
- 9:40 B43 18世紀朝鮮の実学者洪大容の数学書『籌解需用』について—全体的構成と
テキストの検討— 任正嫻

<C会場>

- 9:00 C41 教育用に作成されたとみられる化学工業掛図について 岡田大士
9:20 C42 第二次世界大戦前までの日本の教育用地形模型の歴史 宮下敦
9:40 C43 「授業書」概念と言葉の成立過程と科学史研究と授業科学研究 仮説実験
授業の「授業書」概念と言葉の成立 多久和俊明

<D会場>

- 9:00 D41 ブリタニア橋の再評価——橋梁技術の史的展開メカニズムの解明へ向けて 小林学
9:20 D42 写真における色彩再現技術と表現について—天然色写真法の日本での受容
写真新報を中心に— 薄井悠介
9:40 D43 八田與一の中国論と中国開発論 武長玄次郎

5月26日(日) 10:10-11:10 一般講演⑤

<A会場>

- 10:10 A51 現代科学技術史と米国連邦政府—マクロな構造変動 佐藤靖
10:30 A52 第1回日仏原子力会議に至る歴史的背景 小島智恵子
10:50 A53 原子炉立地審査指針(1964年)の成立経緯 横田陽子

<B会場>

- 10:10 B51 久米通賢による坂出塩田構想の変遷—文政・天保期の新開地割図から— 芳地智子
10:30 B52 小型装置を用いた入浜式塩田の作業の検証 北林雅洋
10:50 B53 幕府天文方による惑星のみかけの大きさの研究 嘉数次人

<C会場>

- 10:10 C51 ナウマンはどうやって、日本の地質図を描いたか 矢島道子
10:30 C52 御雇米国人P.V. Veederによる来日前の気象観測 財部香枝
10:50 C53 ワイマルンと研究した岩瀬栄一 本庄孝子

<D会場>

- 10:10 D51 日本の学術体制史研究—資料整備とその歴史研究 その2
兵藤友博、飯田香穂里、久保田明子、小沼通二、高岩義信
10:30 D52 台湾の育児書における優生思想 笹谷絵里
10:50 D53 三木清と技術論論争 初山高仁

5月26日(日) 11:20-12:20 一般講演⑥

<A会場>

- 11:20 A61 1929年のハイゼンベルクとディラックの京都訪問 小長谷大介
11:40 A62 1930-40年代日本における「物性論」の形成過程とその背景 河野洋人

12:00 A63 1962年日本学術会議勧告「原子核研究将来計画」における素粒子研究所
高エネルギー加速器設計の変遷の諸要因とその本質についての考察
高岩義信、平田光司

<B会場>

11:20 B61 生物学者としての仁科芳雄 伊藤憲二
11:40 B62 原子爆弾と戦争廃絶・放棄論, 1944-1945 山崎正勝
12:00 B63 最新の内部被曝データと小児甲状腺がん 佐藤利夫

<C会場>

11:20 C61 頓野私立山口測候所と頓野廣太郎 山本哲
11:40 C62 野辺山宇宙電波観測所設立の歴史—目標設定と装置開発を中心として— 千葉庫三
12:00 C63 戦時期の宮城音五郎の科学技術思想について 吉葉恭行

<D会場>

11:20 D61 市民科学の誕生：STSの思想史のために 木原英逸
11:40 D62 大規模風力発電施設による超・低周波音問題（その4）—Yeowartの
実験データ(1967年)を巡るG特性評価法(ISO7196)の疑わしさと容認
した環境省の責任— 後藤美智子
12:00 D63 軍事技術開発とデュアルユース活用論 山崎文徳

5月26日(日) 13:10-15:40 シンポジウム

<A会場>

13:10 S3 【シンポジウム】150年を迎えた科学・理科・実業教育の史的新実相を
求めて—「理科」誕生期前後の新知見とその現代的再構成—
小林昭三(代表)、伊藤稔明、高橋浩、赤羽明、所澤潤、
玉置豊美、興治文子、生源寺孝浩、大石和江

<B会場>

13:10 S4 【シンポジウム】仮説実験授業の実際とその根底にあるもの
多久和俊明(代表)、湯沢光男、平林浩

<C会場>

13:10 S5 【シンポジウム】放射線の被曝調査と防護基準策定をめぐる科学と倫理
—その歴史と現在—
柿原泰(代表)、山田耕作、瀬川嘉之、
[コメント] 島明美、山内知也、高橋博子、[司会] 藤岡毅